

地域産業クラスター計画（アニメ分野）の 方向性について

令和8年6月16日
新潟市・新潟県

なぜ新潟市・新潟県で、アニメ分野に注力するか

1. スタジオ集積、人材の輩出・育成など産業面の優位性

- 政府は、戦略17分野の1つにコンテンツを位置づけ、基幹産業として海外展開を強力に推進しており、海外市場規模を2033年に20兆円（2022年4.7兆円）とすることを目指している。
- アニメ産業に強い追い風が吹く中、新潟は、大手アニメスタジオの地方拠点を含め、県内に8社以上が立地し、地方都市としては全国有数の集積規模を有する中、有望な拠点として更なる立地が見込まれる状況。
- 人材面でも、近藤喜文（「耳をすませば」監督・五泉市）、鶴巻和哉（「シン・エヴァ」監督・五泉市）、長井龍雪（「あの花」監督・新潟市秋葉区）ら、日本アニメ史を代表する監督を複数世代にわたって輩出。
- 日本アニメ・マンガ専門学校、開志専門職大学、新潟大学、長岡造形大学など、アニメに関連する高等教育機関が多数立地し、アニメ業界に人材を継続的に供給。

都道府県	アニメ制作会社数(本社)	都道府県	アニメ制作会社数(本社)
東京都	692	富山県	3
埼玉県	24	福島県	3
神奈川県	18	愛知県	2
大阪府	12	秋田県	2
福岡県	10	石川県	2
北海道	9	茨城県	2
京都府	5	千葉県	2
新潟県	5	兵庫県	2
沖縄県	4	他 14県	1

(出典)日本動画協会調査（2020年）

2. 新潟国際アニメーション映画祭など、多彩な大型イベントの存在

- 令和5年から開催されている新潟国際アニメーション映画祭は、長編アニメに特化した世界的に希少な映画祭。人材育成プログラム等を通じ、世界のバイヤー・クリエイターとの接点を創出しており、新潟でのアニメ産業が海外収益ルートの構築を目指すための基盤となり得る。
- 昭和58年からの歴史を持つガタケット（新潟コミックマーケット）は、180回を超える開催実績を持ち、日本海側で最大の同人誌即売会として、令和6年度の来場者数は1.2万人、2千サークル以上が参加。
- その他にも、がたふえすなど、民間主体のイベントが多数開催され、新潟市は全国有数のアニメ関連イベント開催地としてポジションを確立。



アニメ関連イベントの開催実績

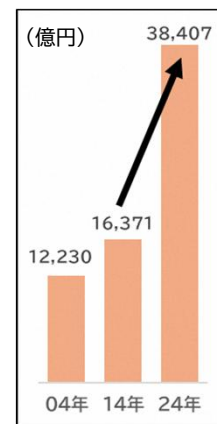
イベント名	来場者数
新潟国際アニメーション映画祭 ※関連催事等を含む	約4.2万人 (第4回)
ガタケット	約1.2万人 (R6年度)
がたふえす	約0.6万人 (R6年度)

なぜ新潟市・新潟県で、アニメ分野に注力するか

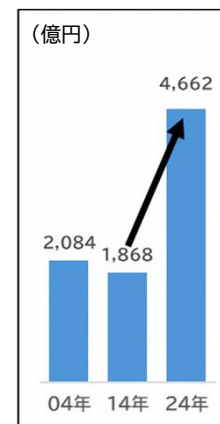
3. アニメ産業の構造的課題（供給力・収益構造）

- 日本のアニメのエンドユーザー売上やアニメスタジオの売上は増加を続けているものの、人材不足や作品の高品質化による制作現場のひっ迫など供給面の課題から、制作タイトル数は横ばいから減少傾向。
- 供給力の増加に向け、アニメーター確保・育成が必要であり、待遇を含め、制作環境の充実・改善に課題。
- また、製作委員会方式は、地方スタジオの下請構造を制度的に温存し、収益に対する制作者への還元が少ないことから、地方スタジオの成長のボトルネックとなっている。

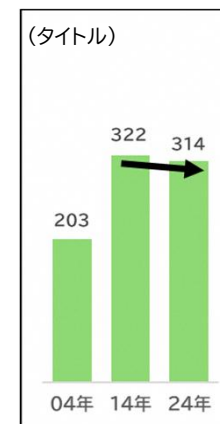
アニメ産業市場規模
(広義・エンドユーザー市場)



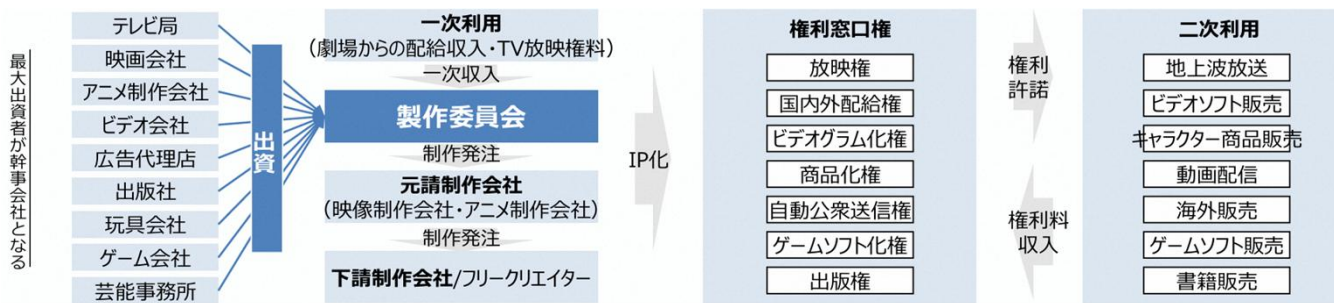
アニメ産業市場規模
(狭義・制作スタジオ市場)



TVアニメタイトル数



《参考》製作委員会方式の基本スキーム



(出典) 経済産業省エンタメ・クリエイティブ産業政策研究会 資料

(出典) 日本動画協会
アニメ業界レポート2025より作成

4. 県内人材の流出への対応の必要性

- 新潟県の人口の社会減が続く中、県内のアニメ関連教育機関の卒業生は、賃金やキャリアパスの弱さを背景に、7割超が県外に就職している。
- 県内のアニメ関連教育機関には、県外からの入学者も存在しており、アニメ関連の企業・産業の高付加価値化等を通じ、若者の県内定着に繋がるポテンシャルが存在。

制作スタジオの集積と人材育成基盤の充実など新潟市・新潟県の持つ優位性を活かし、アニメ分野の産業・企業の高付加価値化と人材供給・育成力の更なる向上を目指す。

アニメ分野に関する官民の支援取組例

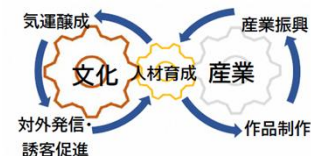
1. 新潟アニメ推進協議会（新潟県、産学官金）

- 新潟県は、アニメに関する施策を総合的かつ効果的に推進し、「アニメで選ばれる新潟」の実現に向け、アニメ制作会社・教育機関・有識者・金融機関・報道機関・行政が一体となった協議会を令和7年に設置。
- 文化振興・人材育成・産業振興の3つの観点から議論し、目標や未来像、取組の指針となるビジョンを策定するとともに、内閣府「コンテンツ地方創生拠点」の第1弾に選定。



新潟アニメ推進協議会 共通目標

アニメ文化・産業が根付いた新潟を拠点に、優秀なクリエイティブ人材が活躍し、高い評価を受けるアニメ作品が生まれるエコシステムの構築



2. マンガ・アニメを活用したまちづくり構想（新潟市）

- 新潟市は、全国に先駆けて、マンガ・アニメを市の文化施策の主要な柱として位置づけており、平成24年に同構想を策定。鑑賞・体験機会の提供や、クリエイターの育成支援等を実施。
- 情報発信拠点として、新潟市マンガ・アニメ情報館を設置。新潟ゆかりの作家の常設展や多様な企画展をはじめ、アニメーション制作や声優の体験など、来場者は年間5万人以上。



3. 新潟アニメ・マンガ・バレー構想（民間企業、大学）

- 起業や企業誘致、クリエイター支援により、クリエイターを目指す人の県外流出を解消し、メディアコンテンツ産業の集積地化を目指す構想。
- 開志専門職大学アニメ・マンガ学部は文化庁のクリエイター等支援事業（育成プログラム構築・実践）に採択され、世界で活躍するアニメクリエイター、監督、プロデューサーの育成プログラム構築に取り組む。

